



人間が動物と話ができないのはなぜ

人間がほかの動物とは、種類がちがうため

動物には、それぞれ、同じ種類の間だけで通じる、ことばをもっています。ですから、同じなかまの動物は、あるていど決まったことばで、話をしています。

人間は、イヌやネコなど、ほかの動物とは種類がちがっていますし、脳やのど、口のしくみなどが、ほかの動物とはちがっていますので、話ができないのです。

人間がほかの動物と話す実験は行われている

しかし、動物と話してみようという実験は、ゴリラやチンパンジーを使って、いろいろ行われています。ただし、それは、声を出して話すのではなく、絵文字を使ったり、手話を使ったりして、話をするというものです。

たとえば、日本には、絵文字で人間の質問に答える、チンパンジーがいます。

赤いえんぴつを5本持たせると、「赤いえんぴつ、五」という、絵を見せるのです。

アメリカには、手話で、「ネコ・好き・やわらかい」と、話せるゴリラもいるそうです。

ほかに、イルカを使った実験も行われていますが、ゴリラやチンパンジーのように、うまくいっていないそうです。

(監修・保志 宏)

